

警戒レベル4で全員避難。5段階の警戒レベルが改正

新しい「災害時の避難情報」が昨年5月20日から運用されています。これまでの警戒レベル4の「避難勧告」を廃止し、「避難指示」に一本化。「避難指示」の情報が出たら、危険な場所にいる人は必ず避難してください。警戒レベル5は、すでに安全な避難ができない危険な状況。少しでも安全な場所で命を守る行動をとりましょう。

インターネットを利用した情報提供



気象庁
https://www.jma.go.jp/jma/index.html



防災情報くまもと
https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/



津奈木町 HP
https://www.town.tsunagi.lg.jp/



統合型防災情報システム
https://www.bousai.pref.kumamoto.jp/

警戒レベル	状況	避難情報	取るべき行動
5	災害発生または切迫	緊急安全確保	命の危険。すぐに安全確保

——《警戒レベル4までに必ず避難》——

4	災害のおそれが高い	避難指示	危険な場所から 全員 避難
3	災害のおそれがある	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者 障がい者 乳幼児 などとその支援者は避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	自らの避難行動を確認

1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める
---	--------------	--------------	-------------

5 すでに安全な避難ができず命が危険な状況。警戒レベル5の発令を待ってはいけません。

4 「避難勧告」は無くなります。警戒レベル4で危険な場所から全員避難しましょう。

3 高齢者や障がいのある人、乳幼児などは警戒レベル3で危険な場所から避難しましょう。

※町が災害の状況を確実に把握できないなどの理由で、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※警戒レベル4は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されます。

※警戒レベル3は対象となっている人以外も必要に応じて避難準備や自主避難するタイミングです。

令和2年7月豪雨犠牲者追悼献花のお願い

町では、令和2年7月豪雨から2年を迎え、災害で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、哀悼の意を表するための献花台を設置します。町民の皆さまの献花をお願いします。

▶期日 7月4日(月)

▶時間 午前8時～午後4時

▶場所 平国上地区 村上廣さま倉庫

※献花用の花は数に限りがあります。また、気象警報発令や新型コロナウイルスの影響で中止または延期することがあります。



昨年の令和2年7月豪雨犠牲者追悼献花

災害が発生したとき、自分で自分の命を守るように――

「もしも」に備える。

いつどんな災害が起こるか予測できない昨今。

自分の命を守るのは自分自身です。そのためには、

日ごろから安全な場所にすぐ避難するための「準備」が必要です。

2 避難先と避難経路を考える

「状況にあった正しい行動」が自分の命を守ります。そのためには災害時には「何に注意をして、どこに避難するか」などを事前に家族で話し合しましょう。令和2年7月豪雨では、指定避難所までの経路に災害が発生した市町村もあり、別地域の指定避難所や親戚宅への避難、自宅待機などそれぞれの状況に合わせて安全を確保されました。

自主避難や町が避難情報を発令するときは有線放送などでお知らせします。

主な指定避難所
つなぎ文化センター
農業就業改善センター
赤崎漁村センター
平国コミュニティセンター

4 避難所での新型コロナウイルス感染対策

◆感染対策に配慮した生活ルール (例)

・マスクの着用、こまめな手の消毒

・人と人の間の距離をできるだけ

2m、最低1m空ける



◆避難するときの持参品 (非常持ち出し品と併せて)

【持参品】マスク、体温計、スリッパ、消毒液など

◆避難方法の検討

危険箇所に住んでいる人などは早めの避難をお願いします。しかし、町が開設する避難所は人が集まるため、感染リスクが高くなります。災害と感染症両面から自分の身を守る行動をとってください。

・今いる場所が安全な場所であれば、無理に避難する必要はありません

・親戚、友人宅などで安全な場所に避難する

・避難場所などで車中泊(避難)をする

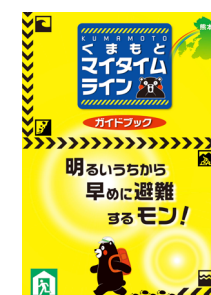
1 総合防災マップで自宅付近の危険箇所を確認

総合防災マップは土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険箇所、避難所など災害時の拠点施設を掲載しています。手元に無い人は総務課総務班(☎78-3111)で受け取れます。

◆マイ・タイムライン(防災行動計画)

災害発生時の避難先や避難のタイミングなど1人ひとりの行動計画をまとめたものです。自分の命や身近な人の命を守ることに繋がります。

熊本県HP
「マイタイムラインを作ろう」



3 非常持ち出し品の用意

いざというときに各家庭で備える非常食や避難用品などの「非常持ち出し品」。準備するだけでなく、使用方法を確認し、実際に試してみることも大切です。

非常持ち出し品の中身チェックリスト (例)

- 飲料水・食料品 (カップ麺、缶詰、ビスケットなど)
- 貴重品 (預金通帳、印かん、現金、保険証など)
- 救急用品 (ばんそうこう、包帯、常備薬など)
- 洗面用具、カイロ、ウェットティッシュ
- ヘルメット、マスク、軍手
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池
- 携帯電話の充電器
- 衣類、下着、毛布、タオル
- 防災マップ

※乳児のいる家庭は、紙おむつ、ミルク、ほ乳瓶など。

